

令和8年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課
 担当名：障害福祉・自立支援医療担当
 内線：3315 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S154	発達障害者就労支援センター事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	発達障害者支援体制整備事業費		
事業期間	平成26年度～	根拠法	発達障害者支援法第10条		針路分野施策	070703	誰もが活躍し共に生きる社会の実現 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール	10 SDGsターゲット	10-2

1 事業の概要

発達障害者は、人とのコミュニケーションの苦手さや独特のこだわりなどから就職や就労継続に困難を感じる方が多い。そこで、発達障害に特化した就労支援機関を設置し、相談から就職活動、職場定着まで支援を行うことで、発達障害者の就労の促進を図る。

(1) 発達障害者就労支援センター事業 22,000千円

2 事業主体及び負担区分

【厚生労働省】
地域生活支援事業費等補助金
(国1/2・県1/2)

3 地方財政措置の状況

普通交付税(単位費用)

(款)社会福祉費

(細目)障害者自立支援費(細節)障害者自立支援費

(積算内容)地域生活支援事業費等補助金

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×0.7人=6,650千円

5 事業説明

(1) 事業内容

「発達障害者就労支援センター」の運営(4か所)

発達障害に特化した就労支援を受けられる機関を運営。

就労相談 200人程度受入／か所

- 相談・職業能力評価：電話や来所による相談支援、作業体験を通じて得意・不得意な作業や能力を評価。

- 就労訓練：グループワークでの実践的職業訓練、ビジネスマナーやIT技術の習得等。

- 企業開拓・ジョブマッチング：企業への実習、合同企業面接会の開催、ハローワーク・企業面接への同行。

- 職場定着支援：就職後定期的に職場を訪問するなど、本人と職場の双方をフォローする。

(2) 事業計画

「発達障害者就労支援センター」の運営

平成26年度(6～3月):2か所(川口・草加)、平成27年度:3か所(川口・草加・川越)、

平成28年度以降:4か所(川口・草加・川越・熊谷)

(3) 事業効果

【活動指標(アウトプット)】発達障害者就労支援センターの設置・運営4か所

【成果指標(アウトカム)】相談件数800件、就職者数80人

(年度実績)

- 相談件数 令和4年度:954件、令和5年度:827件、令和6年度:810件

- 就職者数 令和4年度:112人、令和5年度:128人、令和6年度:104人

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金						
決定額	22,000	11,000					11,000	0
前年額	22,000	11,000					11,000	

事業内訳書

事業名	発達障害者就労支援センター事業		
単位事業名	発達障害者就労支援センター事業	予算額	22,000千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・社会福祉費補助金	11,000	0	【厚生労働省】 地域生活支援事業費等補助金 補助率 1/2
一般財源	11,000	0	
合計	22,000	0	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	22,000	0	発達障害者就労支援センター事業業務委託
合計	22,000	0	